

令和4年度 第4回 神戸中学校学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年10月21日（金）18：00～19：20

2 場 所 神戸中学校会議室

3 出席者 委員：是枝徳義，兼丸良政，阿部雅登，白塚山隆彦，河北瑞希
北村 武，平子正人，高山 剛，木村元彦（学校長）

欠席：林佳代子

教育委員会：杉谷直俊（教育支援課）

学校教職員：市川泰（教頭），樋口智己（教頭），
堀 雄一（生徒指導主事）

4 あいさつ（委員長）

新型コロナウイルス感染症の拡がりも少し減っている状況にあり，体育祭が行われたり，今後，文化祭が予定されていたり学校行事も実施できていることは，生徒にとっても良い経験になると思う。地域でも月末には，国分寺祭りが久しぶりに実施される予定で地域住民の多くが参加する見込みである。

5 報告

（1）第3回学校運営協議会実施報告書

学校長から，事務局で取りまとめた実施報告書の確認を依頼し，了承を得る。

（2）学校や生徒の様子について（別紙学校通信等）

学校長及び生徒指導主事から発行済学校通信等をもとに最近の学校生活の状況等，全体的には落ち着いて生活しており，3年生は受験に向けた取組，2年生は部活動新人戦への取組，1年生は中学校生活に慣れてきた様子などについて説明する。

また，学校行事を通じて社会性を育んでいきたい考えや，SNS・LINEなどの取扱いによるトラブルの防止にも家庭の協力を得ながら取り組んでいきたい考えについて説明する。

（3）学校教育課題改善の進捗状況について

学校長から，令和3年度学校関係者評価での指摘事項等についての改善状況や取組状況について説明する。

（4）市制80周年記念レガシー事業

学校長から，市制80周年記念レガシー事業について，神戸中学校の文化と歴史の継承・発展をテーマに，学校や校区の歴史をたどることができる写真パネルを作成し，学校や地域への愛着や誇りを抱くことができたり，神戸中学校生徒の土台と捉え取り組んできた人権に関する出来事や生徒からのメッセージを作成し，人権尊重の精神の高揚を図ったりする内容で取り組むことについて説明する。

（委員からの意見等）

- ・登下校時などに学校を訪れる機会も多いが，特に気なる様子は見られないと受け止めている。1年生，中学生になって自分でできることが増えてきたと感じている。

- ・携帯電話は、使い方を間違えると大きなトラブルにつながる。携帯電話の機能や利用範囲が広がる中で、使い方を浸透させることがなかなか難しいと感じている。
- ・小学校の家庭教育学級では、保護者にネット研修を実施している。携帯電話の使い方やルールについて、保護者から知ってほしいと思う。また、保護者で知る機会があればと思う。
- ・子どものLINEなどを、親が勝手に見ることには躊躇してしまう。使い方やルールは、家庭によって様々と思われ、ルールなどを学ぶ機会があればと思う。
- ・レガシー事業については、河曲公民館にも参考となる資料があると思う。

6 協議

(1) 地域による学校支援体制について

学校長から、今後の学校運営協議会を中核とした学校支援体制についての一つの考え方を示し、説明する。

(委員からの意見等)

- ・小学校では、様々なボランティア活動が行われているのに、中学校になると途切れてしまっている。
依然に、神戸中としてパトロール隊を募集したこともあるが、誰も集まらなかった。
募集や応募といったことでは、ボランティアも集まらないのではないか。
- ・保護者世代が、ボランティア活動に参加することは難しいと思う。PTA 活動でも、外部に委託する時代になっている。
- ・除草作業など地域の学校支援の活動の際に、PTA も同時に参加する仕組みにしてはどうか。
- ・呼びかけや声掛けをまず行うことが必要ではないか。
- ・ロータリークラブやライオンズクラブ、青年会議所といったところとの連携も考えられるのではないか。
- ・学校支援の仕組みについて、SDGs のような到達目標を決め、PDCA サイクルで取組仕組みにしてはどうか。
- ・中学生には、小学生とは違って関わりへのハードルがある。関係が仲良くなっていけばうまくいくこともあるだろうが、関係性を築くまでが難しいことも多いのではないか。

7 その他

(1) 合唱コンクール・文化祭及び鈴教研委託研究発表について

学校長から、合唱コンクール・文化祭及び鈴教研委託研究発表の概要及び参観について説明する。

(2) 第5回学校運営協議会

次回の学校運営協議会を、令和4年12月10日(土)9時00分から開催することを確認する。